

～幸田町との絆を深める～

# 幸田町訪問団を市民皆さんでおもてなし！



愛知県幸田町から11月6日と7日の2日間、訪問団が本市を初めて訪れました。

幸田町とは、平成26年10月に「歴史と文化の友好交流の推進に関する協定を締結したことを契機に交流を進めており、昨年は、本市から100人の訪問団が幸田町を訪問しました。

今回、大須賀一誠幸田町長や浅井武光幸田町議会議長、高須悟友好交流推進委員会会長をはじめ、100人が来島しました。訪問団は、市内の至るところで多くの市民の皆さんからの温かい歓迎を受けながら歓迎式会場の島原城に到着。

歓迎式では、松平忠房公が福知山から島原に移って来た際に、歓迎して踊ったとされる「先踊り」と島原農業高校の島農和太鼓の演奏があった後、古川市長が「今回の訪問を契機にお互いの良さを発揮して共に発展していきましょう」と歓迎のあいさつを行いました。

大須賀町長からは、「島原の歴史、文化、風土を見て、聞いて、感じていきたい。今後の友好につなげていきたい」とお礼の言葉がありました。その後、訪問団は、島原城や旧島原藩薬園跡を見学し、松平家の菩提寺である本光寺を参拝しました。

その日の夜に行われた交流会では、



参加者はお互いの話に花を咲かせながら交流を深め合いました



深溝松平氏の足跡をデザインした「鉄の切り絵」を大須賀町長から贈呈されました



本光寺の片山住職による講話を熱心に聞く訪問団の皆さん



沿道で歓迎する市民の皆さん



歓迎式で先踊り保存会が「先踊り」を披露



「ようこそ島原へ」。再会を喜ぶ皆さん

両市町の約200人が参加し、昨年、幸田町への訪問で出会った人たちとの再会を喜ぶ姿も見られました。

その後、「肥前島原ごども狂言」や「新幸田町音頭」を披露したほか、参加者全員で踊ったり、歌うなどして交流を深めました。

翌日には、仁田団地第一公園の雲仙普賢岳噴火災害犠牲者之碑に献花の後、雲仙岳災害記念館や武家屋敷、鯉の泳ぐまちなどの観光スポットを見学し、島原の自然や歴史、風情を感じてもらいました。

そして、見送り式では多くの市民の皆さんが駆けつけ、再会を約束し、別れを惜しみながら、バスが見えなくなるまで、お互いに手を振り続けました。今回の訪問でお互いの絆がさらに深まりました。

市民の皆さんには、温かい歓迎ありがとうございました。



別れを惜しみながら見送り



市内の至るところで多くの市民が訪問団を歓迎



犠牲者の冥福を祈り雲仙普賢岳噴火災害犠牲者之碑に献花